

事業系一般廃棄物減量等計画書(事業系一般廃棄物多量排出事業者用)

年 月 日

(あて先) 川 崎 市 長

認 定 番 号

事業場の所在地

事業場の名称

事業場の代表者名

川崎市廃棄物の処理及び再生利用等に関する条例第19条第1項の規定により、令和7年度の減量等計画を次のとおり提出します。

事 業 者 の 区 分		所 有 ・ 占 有 ・ 管 理			
業 種 ・ 業 務 内 容		業種	業務内容		
事業系一般廃棄物 管 理 責 任 者		氏名 所属 電話 ()			
廃 棄 物 の 管 理 等		廃棄物管理組織 有・無 分別ストックヤード 有・無 廃棄物管理規定 有・無 処理施設 有・無 社内教育 有・無			
資 源 化 の 状 況		資 源 化 物 名	回 収 業 者 名	住 所	電 話
		1 2 3			
減 量 ・ 再 生 利 用 等 の 取 組	実 績				
	計 画				
再 生 品 等 の 使 用	実 績	用紙類 (OA用紙・複写用紙・トイレットペーパー・) 事務用品 (ノート・) 雑品類 (せっけん・) エコマーク商品 ()			
	計 画				

令 和 7 年 度 実 績						単位	t／年
種 別	発 生 量 ①	資 源 化 量 ②	事 業 場 内 量 処 理 ③	指 定 処 理 施 設 搬 入 量 ①－②－③	資 源 化 率 (%) ②／①		
新聞・雑誌							
段 ボ ー ル							
その他紙類							
ちゅうかい 厨 芥 類							
空 き 缶							
空 き 瓶							
そ の 他							
合 計							
令 和 8 年 度 計 画						単位	t／年
種 別	発 生 量 ①	資 源 化 量 ②	事 業 場 内 量 処 理 ③	指 定 処 理 施 設 搬 入 量 ①－②－③	資 源 化 率 (%) ②／①		
新聞・雑誌							
段 ボ ー ル							
その他紙類							
ちゅうかい 厨 芥 類							
空 き 缶							
空 き 瓶							
そ の 他							
合 計							

注 1 廃棄物の排出・管理状況フローシートを添付してください。
2 発生量、資源化量、事業場内処理量、指定処理施設搬入量及び資源化率は、種別ごとに記入してください。

事業系一般廃棄物減量等計画書（多量用） 記入例

令和8年〇月〇〇日

(あて先) 川崎市長

認定番号
〇〇〇〇

事業場の所在地
川崎市川崎区宮本町1番地

事業場の名称
(株)川崎環境電気 生環事業所

事業場の代表者名
川崎 太郎

事業者の区分	所有・占有・管理
業種・業務内容	業種 電気機械器具製造業 業務内容 IoT/IID製品の技術開発
事業系一般廃棄物管理責任者	氏名 幸花子 所属 環境管理部 電話 044
廃棄物の管理等	廃棄物管理組織 〇・無 分別ストックヤード 〇・無 廃棄物管理規定 〇・無 処理施設 有・無 社内教育 〇・無
資源化の状況	資源化物名 回収業者名 住所 電話 1 古紙 (株)〇〇商店 千葉県船橋市中央1 047-△777-〇777 2 ダンボール △△株式会社 川崎市多摩区初形2 044-△555-△555 3 空き缶 (有)××工業 横浜市鶴見区鶴56 045-△333-△333
減量・再生利用等の取組	実績 〇 古紙、ダンボール、ミックスペーパーとして回収し製紙工場で再資源化 〇 厨芥類はコンポスト装置で有機肥料の原料として再資源化 〇 空き缶、空き瓶は回収業者を通じ原料として再資源化 (8) 計画 〇 その他紙類の分別を拡大し資源化率を高める
再生品等の使用	実績 用紙類 OA用紙、複写用紙、レシート、封筒) 事務用品 ボールペン、シャープペンシル) 雑品類 〇 〇 〇 のり・ファイル) エコマーク商品 (消しゴム) 計画 〇 蛍光ペン・マジック・OHP・名刺ケース等の使用拡大

令和7年度実績						単位	t/年
種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内 処理量 ③	指定処理施設 搬入量 ④	資源化率 (%) ②/①		
新聞・雑誌	38	38			100%		
段ボール	170	170			100%		
その他紙類	291	86		205	30%		
厨芥類	60	25		35	42%		
空き缶	59	59			100%		
空き瓶	12	12			100%		
その他	30			30	0%		
合計	660	390		270	59%		
令和8年度計画						単位	t/年
種別	発生量 ①	資源化量 ②	事業場内 処理量 ③	指定処理施設 搬入量 ④	資源化率 (%) ②/①		
新聞・雑誌	37	37			100%		
段ボール	166	166			100%		
その他紙類	280	143		137	51%		
厨芥類	55	38		17	69%		
空き缶	58	58			100%		
空き瓶	10	10			100%		
その他	25			25	0%		
合計	631	452		179	72%		

注1 廃棄物の排出・管理状況フローシートを添付してください。
2 発生量、資源化量、事業場内処理量、指定処理施設搬入量及び資源化率は、種別ごとに記入してください。

【※記入上の注意】

- ①申請日:提出日を記入。
- ②認定番号:通知書等に記載されている認定番号を記入。
- ③事業者の区分:
該当する区分(所有(建物等を所有している)・占有(建物等を賃借等している)・管理((ビル管理業など)))に○をつける
- ④業種・業務内容:主な業種および業務内容を具体的に記入。
- ⑤事業系一般廃棄物管理責任者:
事業系一般廃棄物に関する管理責任者を選任すること。役職は問わない。
- ⑥資源化の状況:
資源化物の名称(新聞・雑誌、厨芥類 など)を記入。また、回収業者の名称、住所、電話番号を記入。
- ⑦減量・再生利用等の取組み
・実績:ごみの減量化・資源化の取組について記入。
・計画:令和8年度に計画しているごみの減量化・資源化の取組を記入。
- ⑧再生品等の使用
・実績:事業場で使用している再生品やエコマーク商品があれば○をつけるか、空欄に記入。
・計画:新たな再生品等の使用の計画について記入。

- ⑨年度(実績・計画)
・数量はすべて年度(4月から翌年3月まで)単位で記入。
・単位はトン(t/年)とすること。
- ⑩廃棄物の種別(新聞・雑誌、段ボール、その他紙類、厨芥類等)
・種別ごとに、量および処理状況を記入する。
・【その他紙類】には、新聞・雑誌、段ボール以外のすべての紙類(オフィスペーパーやシュレッダー紙など。但し、汚れた紙類を除く)を記入。
・【厨芥類】食品残さなどの生ごみの量を記入。紙類と厨芥類をわけていない場合は、おおよその割合で計算してそれぞれの発生量を記入。
・【空き缶】【空き瓶】は、産業廃棄物に該当するが参考として数値を記入。
・【その他】には、おむつ、剪定枝等、上欄に入らない一般廃棄物を記入。
※プラスチック等の産業廃棄物は記入不要。
- ⑪発生量:売却・無償譲渡しているものについても発生量に含めること。
- ⑫資源化量:
資源化施設(民間業者)に搬入した量、及び資源物として収集運搬業者に委託した量を記入。
- ⑬事業内処理量
事業場内で処理を行った量を記入。事業場内での処理により資源化されるものについては左欄②に量を記入し、フローシートで場内処理であることを明記すること。
- ⑭指定処理施設搬入量:
市の処理センター(焼却場)に自ら搬入した量、及び焼却ごみとして許可業者に委託した量を記入。